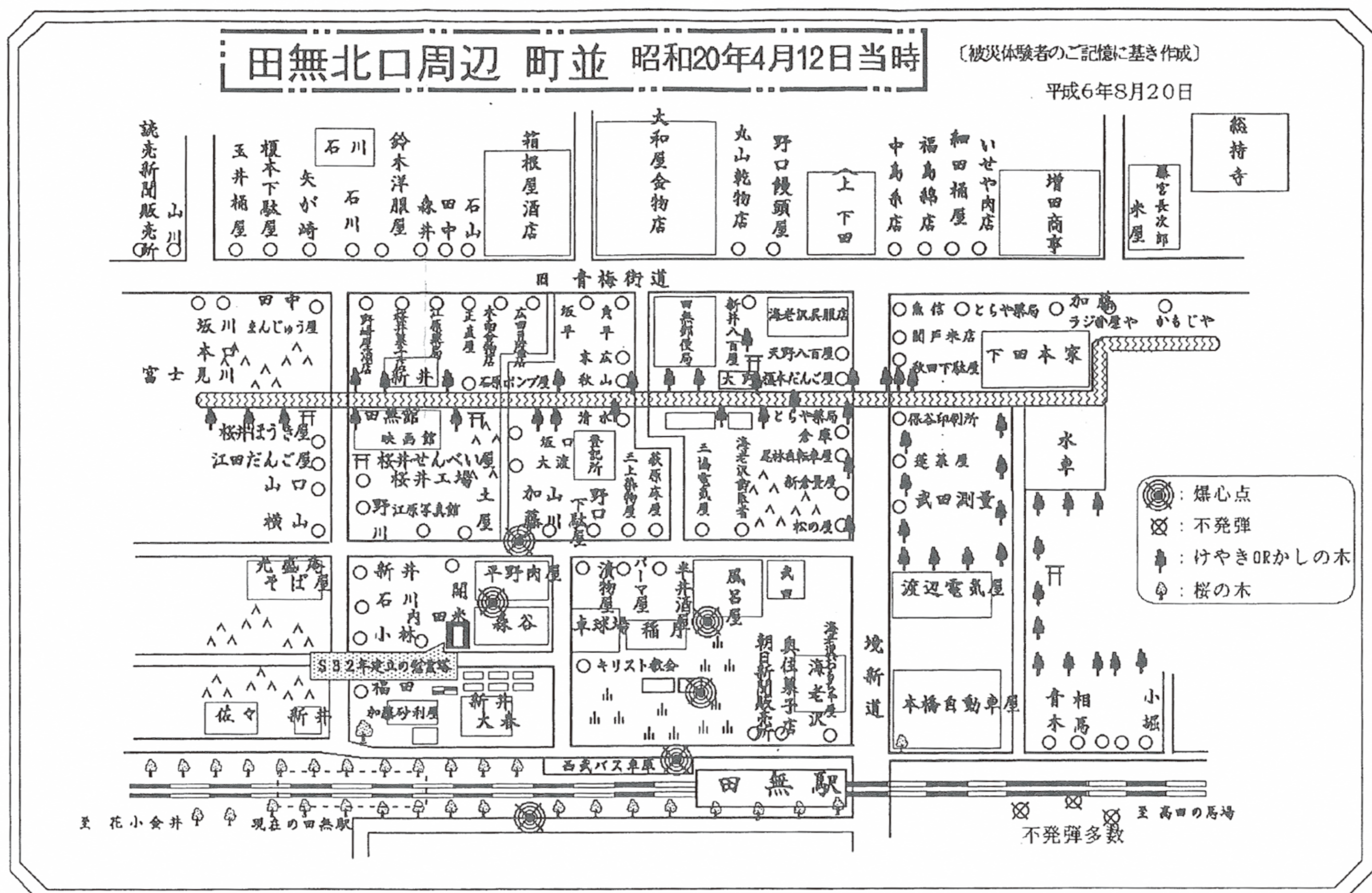


くう しゅう 田無駅前の空襲

1945(昭和20)年4月12日、米軍の爆撃目標は中島飛行機武蔵製作所でしたが、春霞のために目標を大きく外れ、1トン爆弾が田無駅前、所沢街道北原、保谷町などに多数投下され、100名以上の犠牲者が出ました。田無駅のホームは吹き飛び、50軒以上の家屋が全壊しました。西東京市はこうした惨劇が二度と繰り返されないよう世界の平和を願い、「西東京市平和推進に関する条例」で、4月12日を「西東京市平和の日」と定めています。



『八つ手の盆』より



平和観音「戦災者慰霊塔」

総持寺山門



撮影:牛田守彦氏

4月12日の空襲犠牲者の遺体が総持寺に運ばれ、合同の通夜が行われた。いまでも毎年、4月12日に慰霊法要が行われている。